

どんぐり 実生

〒330-0042 さいたま市浦和区木崎3-1-1

埼玉県立浦和西高内 浦和西高斜面林友の会事務局 電話 048-831-4847

メール件名は「斜面林」と記入してください。

入会の申し込み、問い合わせメール 3220028501@jcom.home.ne.jp

『実生』投稿受付 ashinagako@gmail.com

ホームページ <http://unshamenrin.wix.com/un-shamenrin>



《9月13日》 活動内容

天気：晴れ ① 小川先生の「穀物(禾本科)講座」
② さつまいも畑の草取り

参加人数：28名

小雨が降っていましたが曇りです



URAWANISHI.SHAMENRIN

Instagram QRコード

①小川先生の「穀物(禾本科)講座」

天気が良くないと登場するのがおがキンちゃんの10分間講座です。苦しい時のおがキン頼み？
今日のお話は

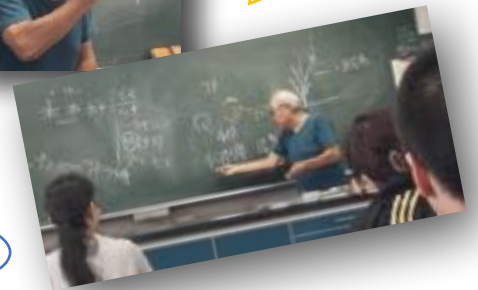
「人はなぜ穀物を主食で食べるのか？」を生物学的に解説してくれました。

イネ・ムギ・トウモロコシ・タケ(ササ)・アワ・ヒエなど、これらの穀物のことを「禾本科」と言うそうです。

詳しい内容は…💧 またの機会に笑



かほんか
禾本科



②さつまいも畑の草取り

さつまいも畑は草だらけです。

そこで斜面林友の会「斜面林ジャー」が出動して一気に草刈りしました。

11月の焼きいも大会が楽しみです。

斜面林ジャー
参上！



斜面林友の会の
ゆるキャラですか？



草ぼうぼうです



斜面林ジャーがいっぱい



すっかり綺麗です

🌲 ちょこっと旅のお話 🌲

斜面林友の会活動日に山形県河北町に出かけておりました。
小さな田舎町にある谷地八幡宮の方から「谷地どんが祭りを見にきてね」とのお誘いがありました。

「お祭り楽しそう～」と気軽に行ったのですが

そちらの舞楽が『国指定重要無形民族文化財』と知りびっくり。

6～8世紀ごろ中国から仏教とともに舞楽が渡ってきました。

聖徳太子はこの価値を認めて、林、菌、岡、東儀の姓を頂いた楽人が家業として受け継ぎ、この舞楽を日本中に伝習しました。

ここ山形に定着した林家舞楽は都の文化（日本的な文化）の影響が少ないので、シルクロードの面影が残っている。それを伝承し続けていることが重要無形文化財なのだそうです。

ただ、林家も皇室と同様に子どもが少なく、後継者問題で大変頭を悩ませている…とおしゃっていました。（あしな がこ）



「おがキンちゃんのひとりごと」

先日、月刊「実生」の編集長より「斜面林でのダニ感染症は無いのか」と質問がありました。温暖化の影響か、ダニ感染の患者数が増えています。心配も無理はありません。一口にダニと云ってもイメージが今一です。そこで、ごく簡単に必要とされる分類から始めたいと思います。

ヨーロッパでは、ダニを「tick」と「mite」に区別しています。ティックは動物寄生性の大型ダニを、マイトはそれ以外の小型ダニ類の総称と思ってください。この区別は、ヨーロッパ人の家畜文化から来ているものです。

ダニは周知のように広くクモの仲間ですから、糸を吐きます。特に過密状態や飢餓期の時は、糸を吐いてその上に乗り、風が吹くのを待って移動します。羽根の無いダニにとってこれは、大切な移動手段と分布域の拡大手段となっています。

さて、ダニ（主にマダニですが）は幾つかの人畜共通伝染病の媒介源になっていて、かつ近年、その発生域が拡大している事が問題になっています。代表例は重症熱性血小板減少症候群で、死亡率30%にもなる怖いウイルス性の病気です。日本紅斑熱（最小の細菌群であるリケッチアが病原体）、ダニ媒介性脳炎（ウイルスによる中枢神経病）などが日本ではマダニによる代表的な疾患です。



マダニ以外では、昔、新潟や山形などの葦原やススキ原が広がる地域の風土病として恐れられていたツツガムシ病（リケッチアの一種が病原体）が知られており、分布域が拡大中です。マダニもツツガムシ（小型ダニの一種）も動物が動く草原が主な生息域ですが、問題は斜面林も病原体媒介性のダニが生息しているかどうかですね。いかんせん、いないとは言えません。ただ、斜面林にはキツネやウサギやネズミ等の動物は、例えば、荒川流域の草原より少ないと推察されます。だから、確率的に寄生される機会は少ないと思います。

それでも心配ですね。だから、服と服の間に隙間を作らない。綿よりも寄生リスクが減る化繊の服を着る。ダニが居そうな場所に入った後、皮膚に紅斑が見られ、かゆみがある時は、紅斑（刺された場所）に小さな突牙跡が二つ有る（蚊の場合は一カ所）などが、ダニか否かの違いかと思います。いずれにせよ、「あつものにこりて膾を吹く」の例えでは無いですが、必要以上の用心を重ね、挙げ句に斜面林に入らなくなると、活動が成り立たなくなります。それによって再び草茫茫になれば、ダニの温床にもなり得ます。

リスクをどう取るかは
難しい問題ですね。（小川 均）

《2025年度の浦和西高斜面林友の会作業は、基本第2土曜日9:30～11:30に行います》

11月1日（土）、12月13日（土）、1月10日（土）集合は地学教室です。

*第1土曜日です、焼きいも大会です